

A vertical decorative image on the left side of the page. It features a blue and yellow color scheme with abstract digital patterns, including circuit lines, data points, and a person in a suit. The top half is blue with white and yellow accents, while the bottom half is yellow with blue accents.

2027年1月期第1四半期

# 決算補足説明資料

A vertical decorative image on the left side of the page, showing a person's hands holding a tablet device in front of a laptop. The image is overlaid with a blue tint and features abstract digital patterns.

2026年6月15日

アセンテック株式会社

東証スタンダード市場 証券コード:3565

# INDEX

- 01 2027年1月期 第1四半期 決算報告
- 02 マーケティングハイライト

01

2027年1月期 第1四半期 決算報告

Financial Statement

# 2027年1月期 第1四半期 決算報告 エグゼクティブサマリー

1

## 実ビジネスは予定通り進捗

売上34.1億円(前期比45.5%減)、営業利益5.7億円(前期比26.7%減)、経常利益3.6億円(前期比68.2%減)  
前期の大型案件の反動減が主要因により減収/減益なものの、営業利益は計画予想を上回り進捗。

2

## クラウドインフラとゼロトラストセキュリティ事業領域は大幅増

仮想デスクトップ22.4億円(前期比60.1%減)、クラウドインフラ7.7億円(前期比54.0%増)、ゼロトラストセキュリティ3.9億円(前期比225.6%増)。クラウドインフラ/ゼロトラストセキュリティ事業領域はQ2以降も好調な見込み。

3

## 「リモートPCアレイ」ビジネスは案件数も大幅に増加し堅調

第一四半期の「リモートPCアレイ」導入は48台。地方自治体と民間企業の複数の大型案件を見込み、年間目標台数は昨年の出荷台数348台を大幅に上回り550台に設定。

4

## AI事業に参入

新中期経営計画「Ascentech Vision2030」に沿って、バーチャルヒューマン向け新基盤「Edge AI Array」ならびに、オンプレミスAIソリューション「SapiaBox」を新たに発表し、AI事業に本格参入。

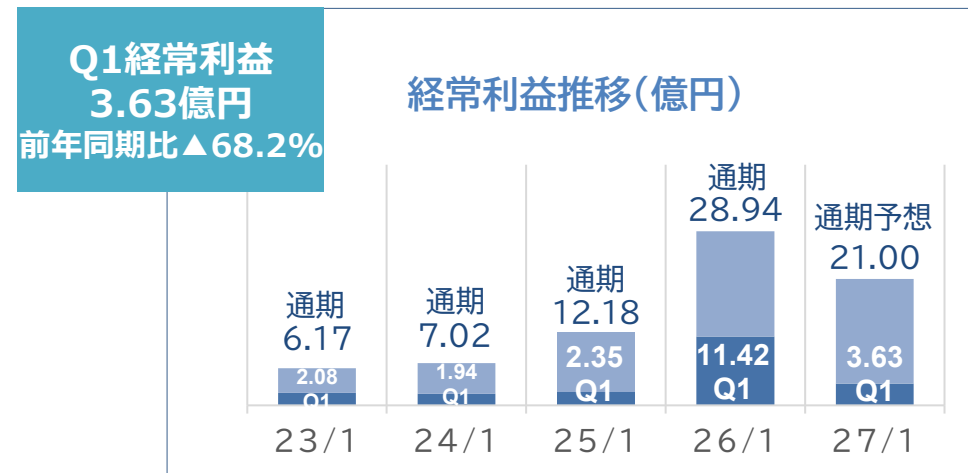
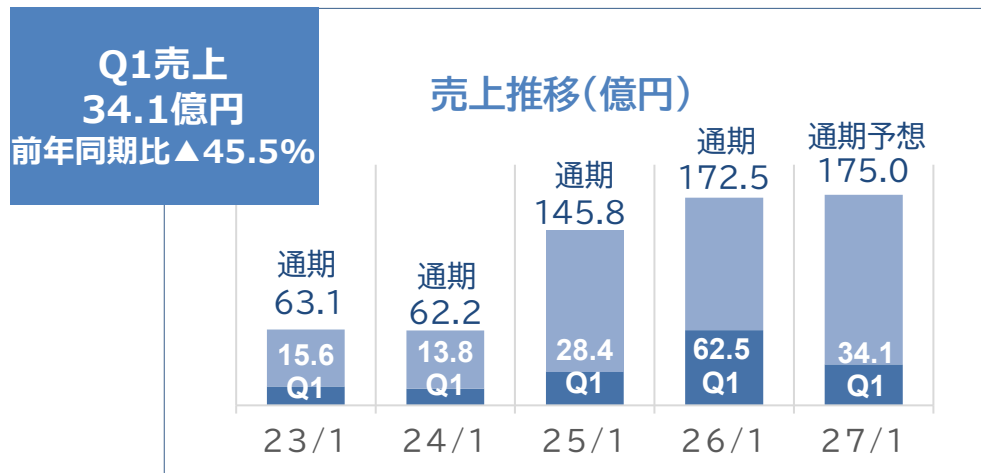
5

## 株主還元

株主還元をさらに訴求するため、配当性向目標を45%以上にする新たな配当方針を決定。  
中間配当を導入し7円、期末配当8円、2027年1月期合計15円(分割前45円)の配当を実施する予定。

# 2027年1月期 第1四半期 売上・利益

▶ 営業利益の予算進捗率は28.6%、通期予算に対して順調に進捗



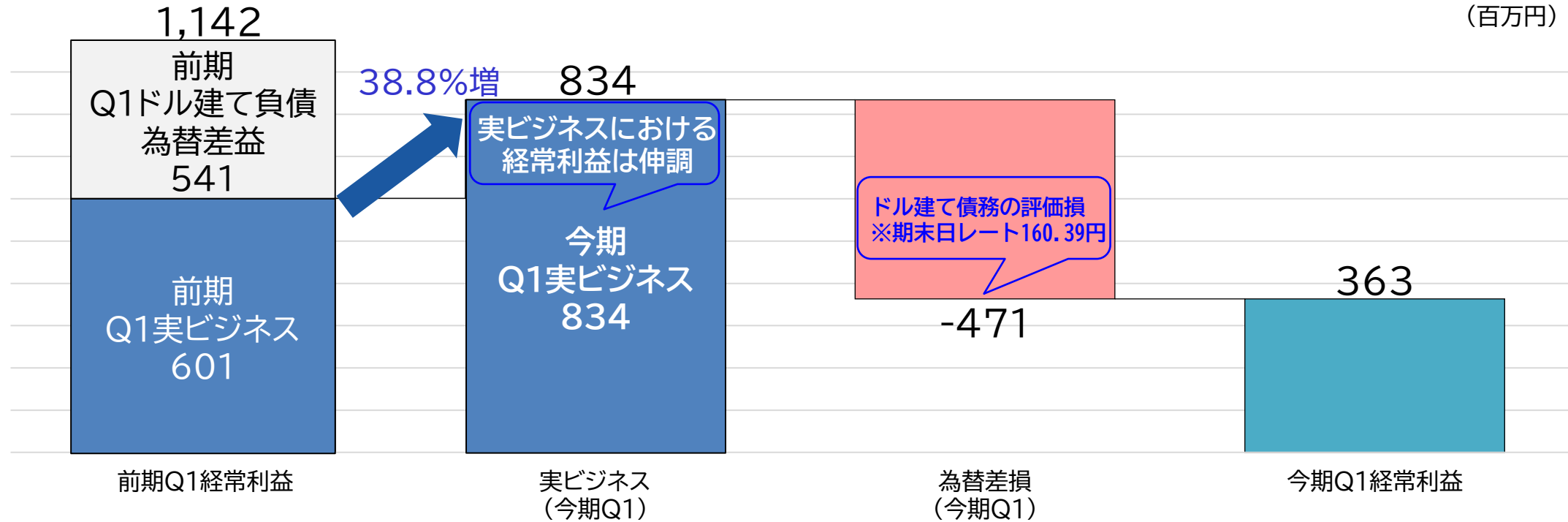
(百万円)	2026/1期 Q1実績参考	2027/1期 Q1実績	売上 構成比	参考 前年比	予算 進捗率
売上高	6,252	<b>3,410</b> ※1,2	100%	▲45.5%	19.5%
営業利益	779	<b>571</b> ※2	16.8%	▲26.7%	<b>28.6%</b>
経常利益	1,142	<b>363</b> ※2	10.7%	▲68.2%	17.3%
当期純利益	791	<b>249</b>	7.3%	▲68.5%	17.4%
1株当たり 当期純利益(円)	18.57	<b>5.80</b>	-	▲68.7%	17.4%

※1:第1四半期において収益認識に関する会計基準に基づき、株式会社CXJの一部取引に係る売上高677百万円を代理人取引として、純額処理しています。

※2:長期売掛金について、割引現在価値での評価を行い、2027/1期Q1期末時点で、売上高/営業利益/経常利益を179百万円減額処理しています。

# 経常利益増減分析:実ビジネスは前期より38.8%増加

(百万円)



## ▶ 為替差損益について

当社は、外国為替相場の変動に伴い、2027年1月期（2026年2月1日～2026年4月30日）において、為替差損239百万円を営業外費用として計上しています。

これは、主に、Cloud Software Group, Inc.との戦略的パートナー契約に基づき計上した外貨建ての債務に対する期末時点での時価評価に伴う為替差損益（為替差損(Q1):▲471百万円）や、従来からヘッジを目的として行っている為替予約の時価評価に伴う為替差損益などを反映したことによるものです。

※前期末レート153.58円

02

マーケティングハイライト

Marketing Highlight

# 新たにAI向けソリューションを投入し、AI事業へ本格参入

3/11

## バーチャルヒューマン向け新基盤 「Edge AI Array」(EAA)発表

- EAA(2U)1台でLLM、VH3人を集約
- オンプレミスで高セキュリティ
- 個人情報、企業情報、機密情報を保護
- 人手不足解消、待ち時間解消
- 高速、正確、多言語対応



 **Edge AI Array**

4/22

## オンプレミスAIソリューション 「SapiaBox」提供開始

- オンプレミスでデータ外部送信ゼロ
- コスト最適化
- お客様専用のAIアプリを開発・実装
- NVIDIA DGX Spark搭載の最新ハードウェア
- 複数台の場合は「Edge AI Array」に展開



# リモートPCアレイ 官公庁・地方自治体導入状況 (2026年4月現在)



